

鶴ヶ島市附属機関会議録

【開催概要】

会議名	令和6年度第5回鶴ヶ島第一小学校学校運営協議会
日時	令和7年3月7日（金曜日） 9時35分～10時20分（授業参観） 10時30分～11時20分（協議会）
場所	鶴ヶ島第一小学校 校長室
出席委員	熊谷茂会長、内野和江委員、串田功委員、町田尚司委員 奥隅侑子委員、池野孝委員、坪山玲緒奈委員 吉澤充委員（鶴ヶ島第一小学校長）
欠席委員	三上光江委員、竹島康史委員、西尾佑貴委員、古賀慎哉委員
事務局	松本靖久教頭、浅見里沙学校事務
議題	【協議】 (1) 「これからの社会で活躍するために必要な力」について（熟議） (2) 文部科学省が身につけさせたい力について (3) 令和7年度の学校経営方針等について（協議・承認の可否あり）
配布資料	資料1 令和6年度第5回学校運営協議会次第 資料2 小学校学習指導要領解説第1章総説1頁～5頁 資料3 令和7年度 鶴ヶ島第一小学校経営方針 資料4 令和7年度 鶴ヶ島市立鶴ヶ島第一小学校 年間行事予定表（保護者用） 資料5 令和7年度入学式について（御案内）
公開・非公開	公開
傍聴人数	0人
会議要旨	1、「これからの社会で活躍するために必要な力」について（熟議） 2、令和7年度の学校経営方針等の説明

【議事概要】

議題(1) 「これからの社会で活躍するために必要な力」について（熟議）

<事務局>

「これからの社会で活躍するために必要な力」について検討する。今の子どもたちが社会に出て就職する等、今後の未来を見据え、学校はどのような力を育んだらよいか、どのようなことを身に付けていくべきか、ご意見をいただきたい。グループで活動し意見を深め合う。

<グループ1>

根本になるのは人間力である。周りを見て判断するコミュニケーション能力、広い視野を持ち他人と協力することである。2つ目は、判断力である。危機管理や防災、さらには自分を主張することや思ったことを発言できることにも繋がると考える。3つ目は、進んで行動する態度である。1つのことをやり切る

力や向上心、聞く力、挑戦する力、その根底には体力が必要である。4つ目は内面的な意味で思いやりをもって感謝することが大事である。5つ目は学ぶ力が必要である。想像力、自己肯定感、グローバルな視野で考える力をまとめると心・技・体につながる。

<グループ2>

1つ目は、思いやる心と人間性を育む力である。2つ目は、相手の意見を聞き協力する力であり、争うことなく進められることができる。3つ目は、やりたいことをやり抜く力である。継続することで諦めない力を養う。また、やり抜く力や自分から動く力であり、見通しを持って動くことができるであろうということ、全部で3つをポイントとした。

議題(2) 文部科学省が身につけさせたい力について

<事務局>

次に、文科省が身に付けさせたい力について、社会に開かれた力を身に付けていくために学習指導要領を抜粋して説明した。学校だけではなく、運営委員会の皆さんの意見を取り入れながら学校経営方針を作成していくことになる。

議題(3) 令和7年度の学校経営方針等について（協議・承認の可否あり）

<校長>

リクルートエージェンシー（派遣会社）が発表している‘社会が求める人材’について触れた。人材を適材適所に配置している会社で、それぞれの業種の会社がどのような人材が欲しいか集約している。まずは、コミュニケーション能力、次にリーダーシップを図れる力（リーダーシップ力）、マネジメントスキル能力、目標達成に向けた問題解決能力（目標達成に向けて問題を取り除ける力）、積極性、自立心、向上心（成長意欲があるかどうか）、既成概念にとらわれない新しい発想の柔軟性、ミスのない緻密性の高さを会社は望んでいる。そのために大学はそういう人材を育てるようになる。そうなると、高校以降も大切になる。だから小学校もそれらの人材を育成していく必要である。

次にベネッセの調査の紹介をする。保護者がわが子に求める理想の大人像は、第1位は、他人とコミュニケーションをうまくとれるようになる。第2位は、失敗しても立ち直ることができる。第3位は同率で、自分の意見が言える、また主体的に行動できる。第5位はルールや約束を守れる。まさに今委員が書いてくださっていることと重なっている。そして学校教育現場では、互いにコミュニケーションを図り、失敗してもドンマイなどと励まし合い、立ち直ることができる姿を見受ける。教頭が説明した学習指導要領からも逸脱していないと考える。今後自分の意見が言える子、ルールや約束を守れる子を育成していきたい。

これらを踏まえて学校経営方針（資料3）を配付する。

学校教育目標と目指す学校像の説明。

「やさしい言葉と笑顔あふれる」これができるということは、失敗しても励ますことができる状態を意味している。まさに社会が求める人材や（ベネッセの）保護者の調査を網羅しており、そんな素晴らしいことはないと考える。

<委員>

理解不十分で申し訳ないが、「やさしい言葉と笑顔あふれる、一人一人が輝く学校。」学校自体が輝くのかなという感じがする。学校が一人一人を輝かすのであって、学校が輝くことなのかなと思ってしまう。だが、これで結構です。

<校長>

一人一人が輝いている状態の学校を意味する。輝ける状況にするのも学校の役割だと考える。

<委員>

これから1年間よく考えることとする。

<会長>

それではこの方針に賛同できるか。最後に校長から何かあれば。

<校長>

「学校だから」できる教育を進めていきたい。そろばんに習字、先日行われた135周年記念のオーケストラの芸術鑑賞、そういう教育を充実していきたい。また、立ち直れる力のある子など、自立心のある子を育てていきたい。